日立高速冷却遠心機 CR22N形

取り扱い手順抜粋

安全にご使用いただくため、本遠心機取扱説明音記載の「⚠安全にお取り扱いいただくために」を必ずお読みください。」なお、本抜粋の（ ）内は取扱説明書の掲載項目等を示しております。詳細は当該項目をご覧ください。

運転前準備

1.ロータおよびチューブ、ボトル等の選択、準備（☞ 各種ロータの取扱説明書 ）

●1.5mlマイクロチューブから1500mlボトル、マイクロプレート等，試料に合わせて選択できます。

2.チューブ、ボトル等への試料注入

●実容量の範囲内で注入してください。（☞ 各種ロータの取扱説明書 ）

3.チューブ、ボトル等のバランス確認、ロータへのセット

（☞ 各種ロータの取扱説明書 ）

●スイングロータ、ホリゾンタルロータは同一種類のバケットを必ず全数セットしてください。

4.遠心機へのロータ装着

●ロータ底部にアダプタが装着されていることを確認します。（☞ 2-2-2 運転操作手順）

●ロータカバー付きのロータはロータカバーを必ず取り付け、カバーハンドルをしっかり締付けて使用してください。

●ロータのピンと回転軸のピンが重ならないように装着してください。

運転操作

1.運転条件の設定（☞ 2-2-1 運転条件の設定）

① 図1に示す表示部のSPEED、TIME、TEMP、ACCEL、DECELの条件の設定値を確認します。
SPEED、TIME、TEMPは、下段に設定値を表示しています（上段は運転状態を表示します）。ACCEL、DECELは、設定値が表示されています。設定値を表示している欄を、以降、設定値表示欄と記載します。
設定値を変更する場合は、②または③にお進みください。
変更する項目がない場合は、2. 運転開始にお進みください。

② SPEED、TIME、TEMPのいずれかを変更する場合は、SPEED欄、TIME欄、TEMP欄のいずれかの枠内を押し、入力ボタン部を表示させます。設定したい項目の枠内を押し、先頭の数値を青く表示させます。
入力ボタン部を押し、数値を入力します。

入力例： SPEED 22,000rpm → [2][2][0][0]
TIME 2分30秒 → [2][:/-][3][0]
TEMP 4℃ → [4]

他に設定する項目がない場合は、入力ボタン部の [Enter] ボタンを押してください。[Enter] ボタンを押すと、入力ボタン部が消え、設定表示欄に設定値が表示されます。

③ACCEL、DECELを変更する場合は、ACCEL/DECEL欄を押し、入力ボタン部を表示させます。設定したい項目の枠内を押し、数値を青く表示させます。
入力ボタン部を押し、数値を入力します。

入力例： ACCEL 9 → [9]
DECEL 7 → [7]

他に設定する項目がない場合は、入力ボタン部の [Enter] ボタンを押してください。
[Enter] ボタンを押すと、入力ボタン部が消え、ACCEL/DECEL欄上に設定値が表示されます。

図 1. 表示部（タッチパネル部）

2.運転開始

●STARTボタン を押してください。

3.分離終了

●設定時間の経過を待つか、またはSTOPボタン [STOP] を押してください。

図 2. 入力ボタン部

4.試料の取り出し

5.本体POWERスイッチの遮断

●必ずドアを閉めてからPOWERスイッチをOFFしてください。

日常のお手入れ

■ ロータ室内に霜や水滴などが付着している場合は、布等で拭き取ってください。（☞ 3-1 ロータ室）
■ ロータは腐食防止のため、使用後はかならずロータ室から取り出してください。
■ ロータ内に試料を漏らした場合はロータを水で良く洗い、乾燥させた後、シリコングリースを塗布してください。
■ アラームが発生した場合は、原因を取り除き [CE] を押してアラームコードをクリアしてください。（☞ 4-1 取扱上のアラーム）

S99831701